

みずほCustomer Desk Report 2016/10/12 号(As of 2016/10/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	103.95 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.71	1.1140	115.55	0.9823	1.2344	0.7599
SYD-NY High	104.07	1.1142	115.79	0.9893	1.2364	0.7610
SYD-NY Low	103.17	1.1049	114.02	0.9822	1.2090	0.7533
NY 5:00 PM	103.52	1.1054	114.38	0.9886	1.2128	0.7540
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.505/11.985		△25RR	1.555	Yen Call Over	
NY DOW	18,128.66	▲ 200.38	債券市場	日本2年債	-0.2560	1.7bp
NASDAQ	5,246.79	▲ 81.89		日本10年債	-0.0450	1.4bp
S&P	2,136.73	▲ 26.93		米国2年債	0.8664	3.6bp
日経平均	17,024.76	164.67		米国5年債	1.2944	3.9bp
TOPIX	1,356.35	5.74		米国10年債	1.7638	4.6bp
シカゴ日経先物	16,915	▲ 70.00		独10年債	0.0250	▲ 3.1bp
ロンドンFT	7,070.88	▲ 26.62		英10年債	0.9790	▲ 4.3bp
DAX	10,577.16	▲ 46.92		豪10年債	2.2490	6.3bp
ハンセン指数	23,549.52	▲ 302.30		USD/CNH	6.7297	0.0126
上海総合	3,065.25	17.11		ドルインデックス	97.70	0.77
USDJPY 3M Vol	11.30	0.15%	商品市況	CRB指数	189.160	▲ 1.12
USDJPY 6M Vol	11.18	0.15%		NY金	1,255.900	▲ 4.50
EURJPY 3M Vol	11.71	0.54%		WTI	50.790	▲ 0.56
EURJPY 6M Vol	11.80	0.44%		Dubai Spot	50.10	1.17

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
10月11日	8:50	日	経常収支/貿易収支	8月 ¥2,000.8B/¥243.2B	¥1,502.7B/¥116.5B
	18:00	独	ZEW調査(現状/期待)	10月 59.5/6.2	55.5/4.0
	18:00	欧	ZEW調査(期待)	10月 12.3	-
	23:00	米	労働市場情勢指数	9月 -2.2	1.5

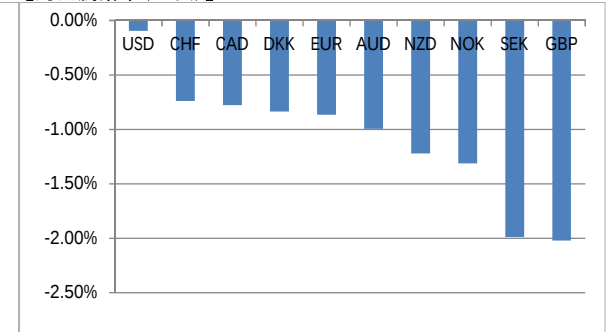
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
10月12日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	8月 -4.7%/7.9%	4.9%/5.2%
	18:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 1.5%/1.5%	-1.1%/-0.5%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	2.9%
	21:00	米	ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
	22:40	米	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-
10月13日	3:00	米	FOMC議事要旨公表(9/20-21分)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00—104.20	1.1000—1.1150	114.00—115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円はレンジをギリギリと下げる展開。日経平均株価の上昇に連れる形でドル/円も一時104円台まで上昇したが、その後は下落基調。英中銀高官による債券安容認発言などを受けた債券の下落や、北米時間に入り米大手企業の市場予想を下回る弱い決算発表などを受けたダウ工業平均株価の下落などからドル/円も値を下げる形となった。加えて、ロシア最大の石油会社ロスネフチが減産の意向を否定したとの一部報道を受け、前日のブーチン露大統領の発言を受けた原油相場に対する楽観的な見方が後退し、原油価格が下落したこともドル/円の上値を重くした。本日のドル/円はレンジ相場が続くと予想。本日は9月FOMC議事要旨の公表を予定しているが、イエレンFRB議長の講演や米主要経済指標の発表も一巡しており市場は年内利上げを十分に織り込んでいると考えられ、大きなサプライズはないと予想する。ただし、年内利上げを巡るメンバー間の意見の隔たりの内容には注目したい。

東京	朝方発表された本邦8月貿易収支/経常収支はともに市場予想を上回る黒字額となったものの、市場の反応は限定的。東京時間のドル円相場は103.71レベルでオープン。前日に原油価格が大きく上昇したことを受けて、日経平均株価が約1ヶ月ぶりに1万7000円台に乗せ堅調推移となるとドル円も連れ高となり一時103.99まで上昇。エバン・シカゴ連銀総裁が12月利上げについて「構わないだろう」と発言したことが伝わったが目立った市場の反応は見られず。その後は104円ちょうどを上げられず、小幅に下落する局面もあったが、再び買いが強まり一時104.07まで上昇。しかしながら、104円台では相応の売り意欲が見られ、結局103.86レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は103.86レベルでオープンし、終始103円台後半で小動きとなった。103.79レベルでNYへ渡った。ポンドドルはHard Brexit懸念を受け1.23台前半から1.22台後半まで下落。朝方は1.2319レベルでオープン。Hard Brexit(EU単一市場へのアクセスを伴わない英国のEU離脱)となった場合、英国の歳入が年間660億ポンド減少するとポンドが大手英報道機関から報道されるとポンドが全般的に売られる展開となった。この流れの中、ロンドン時間中盤のドル高も相俟り、1.2250まで下落した後1.2270レベルでNYへ渡った。ロンドン時間序盤にゴードン南ア財務相が税務当局責任者時代に関与したとされる詐欺事件について裁判所への召喚状が出された事が報道されると、トル南ランドは13台後半から14台前半まで急騰。その後も底堅く推移し14.2900レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は103.79レベルでNYオープン。Hard Brexitの懸念でポンド円、ユーロ円が下落したことや、朝方発表された米9月労働市場情勢指数が予想を下回り、前回値が下方修正されたこと等からドル円は103.50付近の短期的なサポートを割れ103.30まで下落。その後も第3四半期大企業決算で、米大手アルミ会社がアナリストの予想を大きく下回るとダウ平均が大幅下落。ドル円も連れ安となり、一時103.17まで下落。しかし、米10年債利回りが下げ渋ったこともあり、ドル円は103.49まで反発し、103.52レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1079レベルでNYオープン。ECBテーバリング観測の後退や、Hard Brexitなどのヒックが重石となり、近隣諸国であるユーロも軟調な推移となり、一時1.1049をつけ、1.1054レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。